

W
A
T
E
R
D
A
Y

松田町 第6次 総合計画 2019→2026

基本構想・基本計画

2019年度 ▶ 2026年度

後期まちづくり アクションプログラム

2023年度 ▶ 2026年度

概要版

2023年3月

神奈川県 松田町

ごあいさつ

「いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷」をまちの将来像とした松田町第6次総合計画の策定から4年が経過し、これまでのまちづくりアクションプログラムの計画期間が終了します。

そこで、社会・経済情勢の変化や取り組んできた事業の評価・検証を踏まえ、基本計画を見直すとともに、令和5年度から令和8年度までの4年間を計画期間とする「後期まちづくりアクションプログラム」を策定しました。

この4年間を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際社会における秩序の乱れに伴う物価高騰への対応など、町民の命や暮らしを守るための取組を、SDGs未来都市として“誰一人取り残さない”という考えのもと、最優先に行ってまいりました。

社会の変化に適応しながら、今後の4年間は、消滅可能性都市から脱却するため、人口減少をくい止め、より高い次元での創意工夫のもと、住民福祉の更なる増進を図ることが求められています。

少子高齢化による人口減少が続く中で、本計画では、若い世代が安心して子育てができ、子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちを目指す『チルドレンファースト』の理念に基づき、全ての部門をあげて、持続可能なまちづくりに取り組むこととしています。

策定にあたっては、まちづくり町民アンケートや町政懇話会、まつだ子どもカフェ、子育て世帯への意見募集等を通じて、未来を担う子どもたちから子育て世代、高齢者の方まで、幅広い年代の町民の皆様からご意見を頂戴し、計画に反映しました。

この計画のもと、町民の皆様との協働・連携協力により、みんなが主役のまちづくり、持続発展的で魅力あるまちづくり、郷土愛をもって活躍する人づくりに取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案をいただきました町民の皆様をはじめ、慎重なご審議を賜りました総合計画審議会、町議会の皆様並びに関係各位のご理解、ご協力に対しまして、心からお礼を申し上げます。

令和5年（2023年）3月

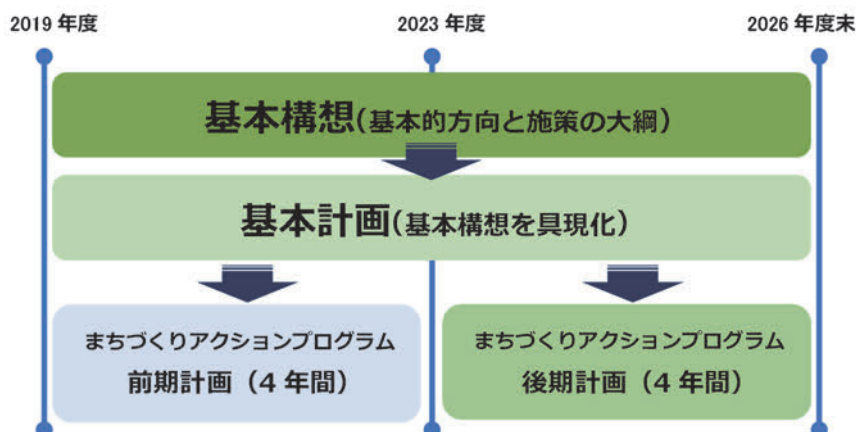
松田町長 本山 博幸

松田町第6次総合計画とは

松田町第6次総合計画は基本構想・基本計画とまちづくりアクションプログラムで構成されます。《**基本構想**》は今後のまちづくりの基本的な方向や将来像、施策の大綱を示し、《**基本計画**》は分野別の実現したい町の姿や基本目標を示した8年間の計画です。

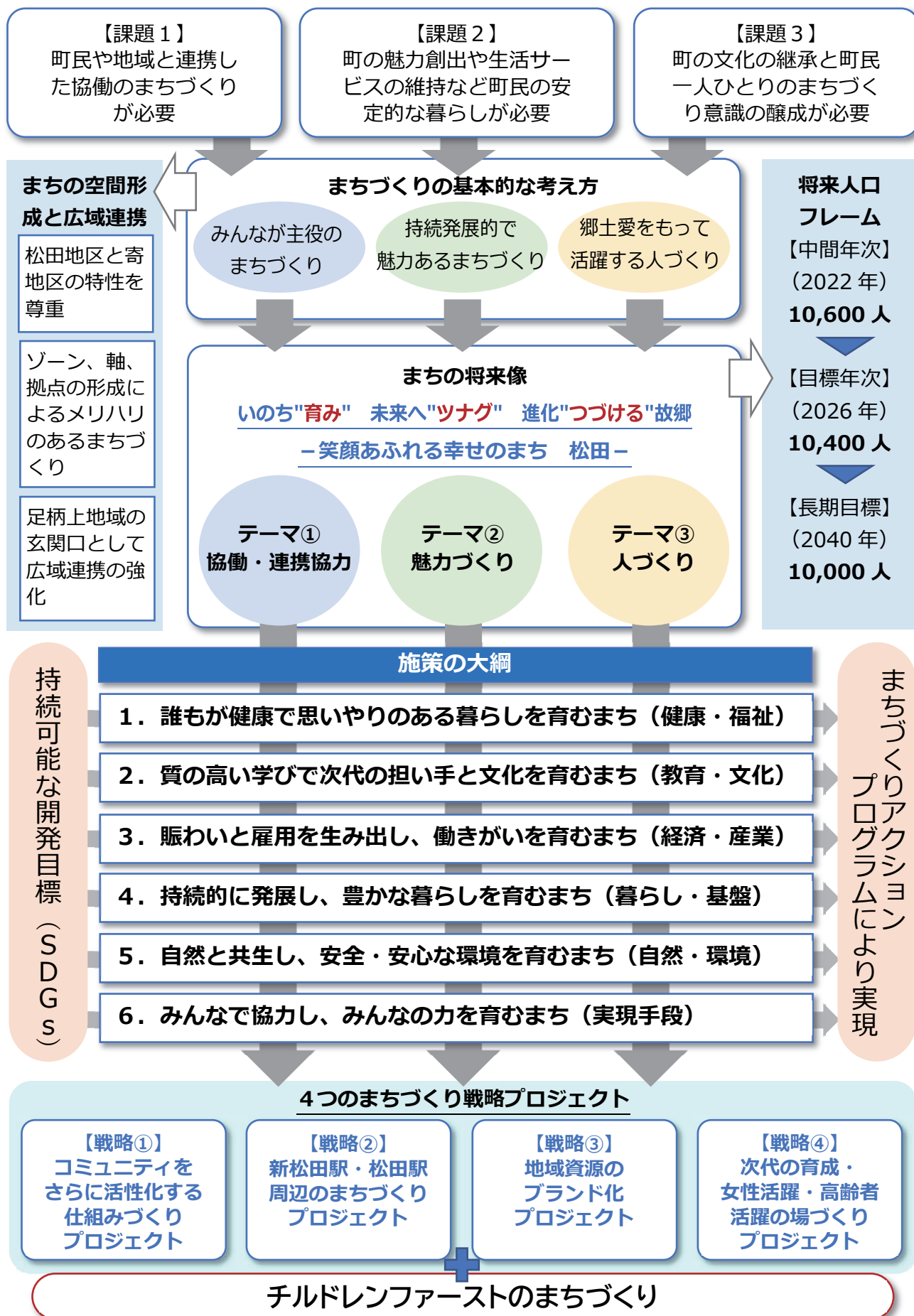
《**まちづくりアクションプログラム**》は将来像の実現のために実施すべき施策や事業内容を示しています。

前期4年間の取組を総括し、社会情勢の変化などの新たな課題に対応するため、基本計画を見直すとともに、2023年度から4年間の実行計画として、後期アクションプログラムを策定しました。



基本構想・基本計画

松田町第6次総合計画の全体像



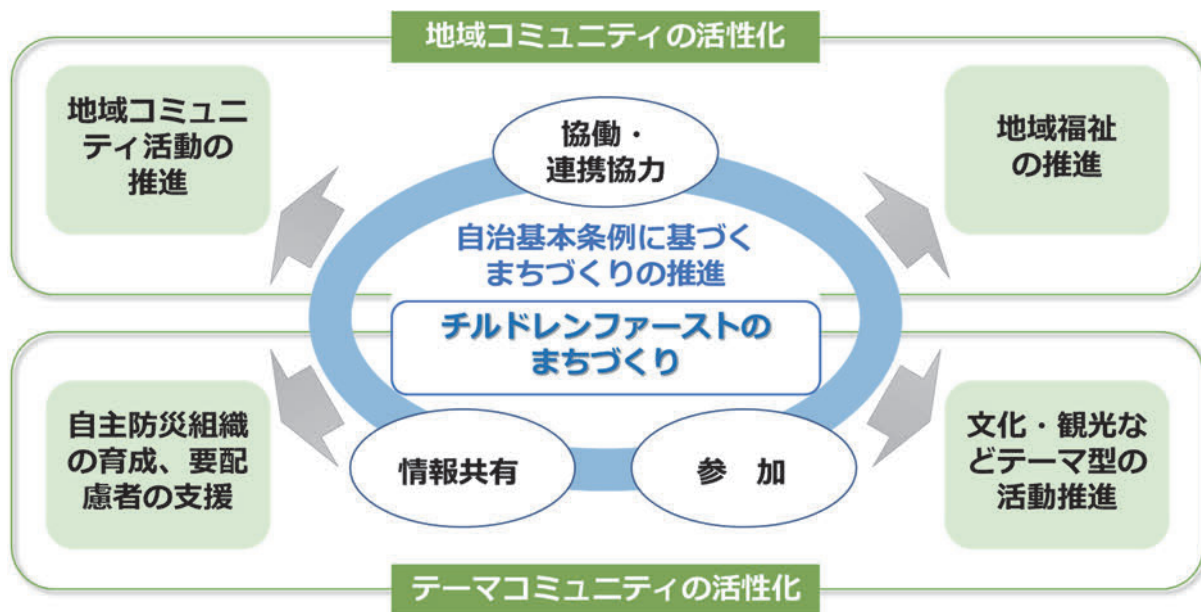
後期まちづくりアクションプログラム

まちづくり戦略プロジェクト

まちの将来像実現に向けて部門横断的に取り組むまちづくり戦略をプロジェクトとして位置づけ、重点的に取り組んでいきます。また、まちづくり戦略プロジェクトと連携しチルドレンファーストのまちづくりを推進します。

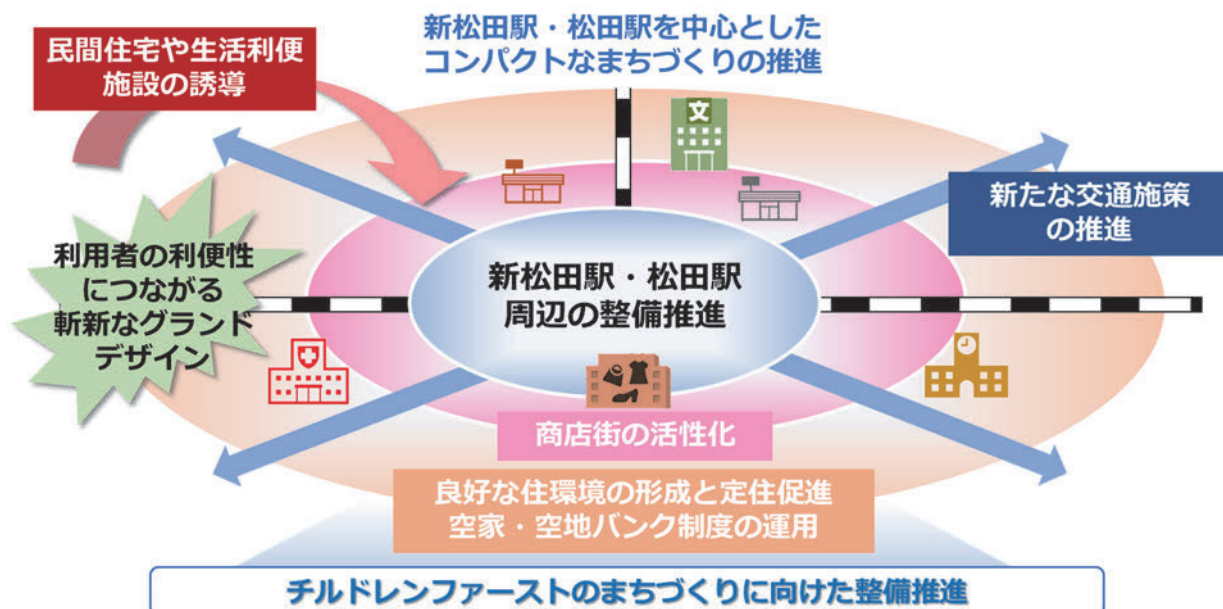
戦略①：コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト

松田町自治基本条例の「情報共有」、「参加」、「協働・連携協力」の3つのまちづくりの基本原則をもとに、町民とともにコミュニティの活性化に向けた具体的な取組をより一層推進します。



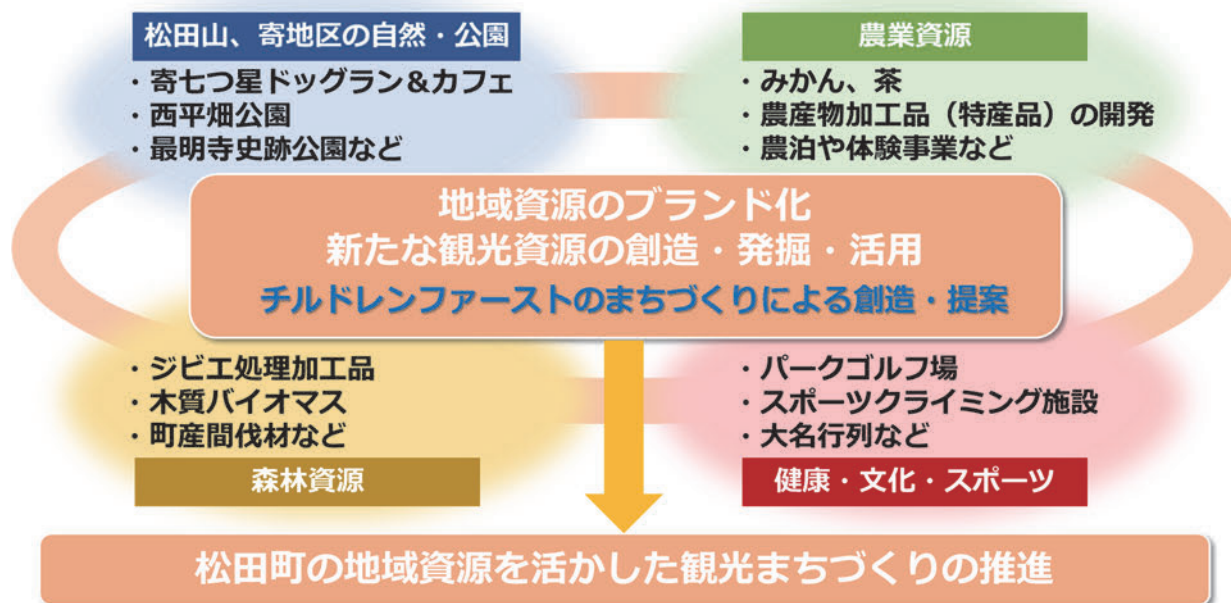
戦略②：新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト

松田町の魅力を更に高めるため、新松田駅・松田駅周辺のポテンシャルを活用し、駅周辺の整備に重点的に取り組むとともに、商店街の活性化や住環境の形成などにより、新松田駅・松田駅を中心にコンパクトで住みよいまちづくりを推進します。



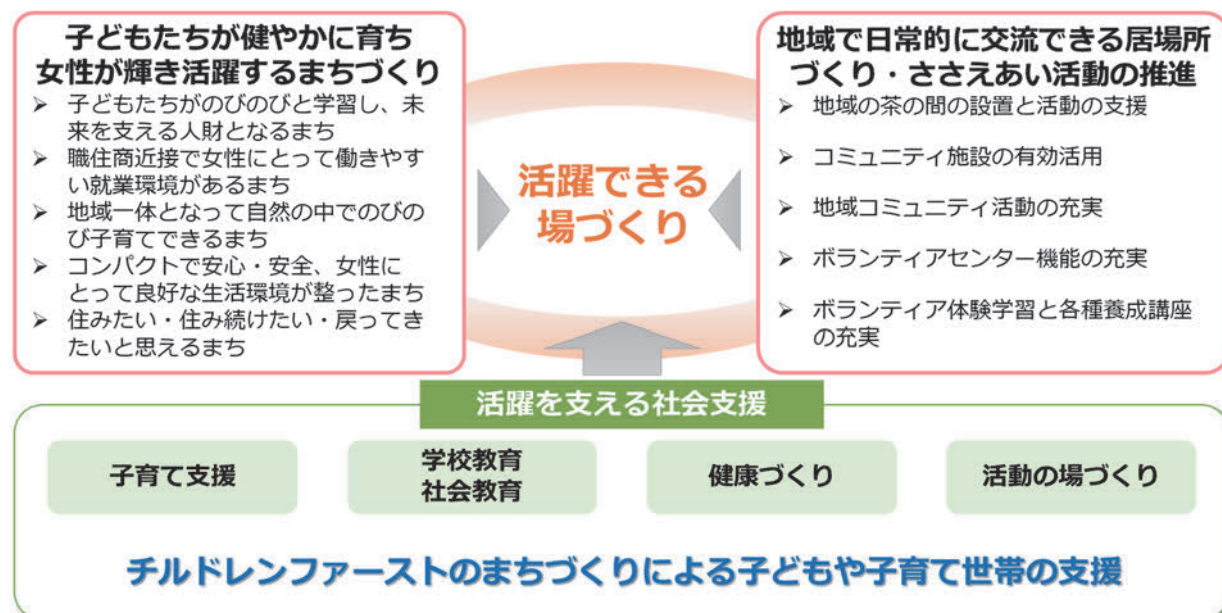
戦略③：地域資源のブランド化プロジェクト

豊かな自然環境や農林業などの地域資源を活用したまちづくりを重点的に進めるため、松田山や地域の文化・伝統芸能などの自然・歴史資源、農産物や木質バイオマス資源などの農林業資源を生かしたブランド化や、運動・スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムを推進することで、文化継承や観光振興などの地域の活性化に取り組みます。



戦略④：次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト

町民一人ひとりが松田町に愛着をもち、活躍できる「人づくり」に取り組み、松田町への定住につなげていくため、特に次代の子どもたちや女性、高齢者に着目し、多様な分野・主体と連携しながら、子どもたちが健やかに育ち、女性が輝き活躍するまちづくりと高齢者等が生きがいをもって日常的に交流できる居場所づくりに取り組みます。



後期まちづくりアクションプログラム

後期まちづくりアクションプログラムの体系

1 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】



- 1 健康づくりと地域医療
- 2 地域福祉
- 3 社会保障
- 4 児童福祉
- 5 高齢者福祉
- 6 障害者福祉

松田町版SDGs

すべての町民の健康的な生活を確保し、福祉を促進するまち

2 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち【教育・文化】



- 1 幼児教育と学校教育
- 2 青少年健全育成
- 3 生涯学習
- 4 地域文化の創造
- 5 スポーツ・レクリエーション

松田町版SDGs

すべての町民に質の高い学びや体験の機会を確保し、生涯学習を促進するまち

3 賑わいと雇用を生み出し、働きがいをも育むまち【経済・産業】



- 1 農林業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 観光の振興
- 4 消費者の保護

松田町版SDGs

持続可能な経済成長と生産的で生きがいのある雇用を促進するまち

4 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち【暮らし・基盤】



- 1 土地利用
- 2 新松田駅・松田駅周辺の整備
- 3 骨格的道路網(国道・県道・幹線町道)と生活道路
- 4 公共交通
- 5 住宅対策
- 6 ごみ処理対策
- 7 水道事業
- 8 下水道・生活排水施設整備

松田町版SDGs

町民誰もが暮らしやすい、強靱かつ持続可能なまちづくりを促進するまち

5 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち【自然・環境】



- 1 自然環境の保全・活用
- 2 河川・砂防・治山
- 3 景観
- 4 公園・緑地
- 5 消防・救急
- 6 防災対策
- 7 防犯対策
- 8 交通安全対策

松田町版SDGs

自然の保全及び持続可能な利用と安全・安心な暮らしの共生を促進するまち

6 みんなで協力し、みんなの力を育むまち【実現手段】



- 1 地域コミュニティと自治の育成
- 2 オール松田で協働のまちづくり
- 3 人権・男女共同参画・女性活躍
- 4 行政経営
- 5 財政運営
- 6 広域行政・国際交流

松田町版SDGs

情報共有、参加、協働・連携協力により、町民と行政が一体となって持続可能なまちづくりを促進するまち

地区別アクションプラン

松田地区・寄地区のそれぞれの現状と課題を整理し、各地区の資源を生かしたまちづくりの方向性と取組を示したものです。

松田地区アクションプラン

松田地区においては、住みよさの資源である交通の利便性や豊かな自然環境を生かした魅力づくりに取り組みます。

<松田地区の役割>

新松田駅・松田駅周辺の利便性や松田山の地域資源を生かした魅力づくり

位置づけ	具体的な取組
新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト	・新松田駅北口周辺整備の促進 ・松田駅北口周辺整備の検討 ・効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進 ・新松田駅南口駅周辺道路の整備 ・新松田駅南口駅前広場等整備 ・おもてなし・お休み処「つむ GO」の活用 ・路線バスの運行維持対策の推進 ・民間住宅の建設促進、良好な住宅地開発の誘導 ・生活環境を向上させる歩行空間の確保 ・新松田駅前等の基盤整備事業に伴う商店街の活性化についての支援 ・足柄上商工会、地元商店街と連携した消費拡大の促進 ・スーパー及びコンビニエンスストアの誘致 ・店舗リノベーション支援補助制度の活用促進
地域資源のブランド化プロジェクト	・松田山の保全の推進 ・松田山の利活用の推進 ・新たな観光資源の創造・発掘・活用 ・西平畑公園及び松田山ハーブガーデン活用促進 ・パークゴルフ場の活用促進 ・コスモス館等での地元農産物の消費拡大の支援 ・民間の観光事業者との連携
その他	・下水道事業の推進と経営基盤の強化 ・ハイキングコース・遊歩道の整備・維持修繕 ・ふるさと鉄道活用促進 ・子どもの館及び自然館の利用促進 ・公園・児童遊園地等の遊具整備・維持管理



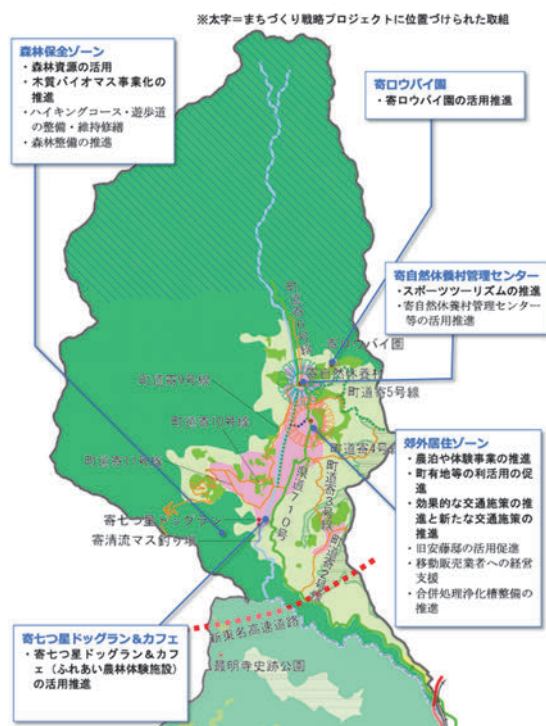
寄地区アクションプラン

寄地区においては、住みよさの資源である豊かな自然環境や地域の交流を生かした魅力づくりに取り組みます。

<寄地区の役割>

森林や農業の自然環境や体験・ふれあい資源を生かした魅力づくり

位置づけ	具体的な取組
地域資源のブランド化プロジェクト	・農泊や体験事業の推進 ・寄七ツ星ドッグラン&カフェ(ふれあい農林体験施設)の活用推進 ・寄口ウバイ園の活用推進 ・スポーツツーリズムの推進 ・森林資源の活用 ・木質バイオマス事業化の推進
その他	・森林整備の推進 ・移動販売業者への経営支援 ・ハイキングコース・遊歩道の整備・維持修繕 ・旧安藤邸の活用促進 ・寄自然休養村管理センター等の活用推進 ・合併処理浄化槽整備の推進 ・町有地等の利活用の促進 ・効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進



計画の推進

進行管理の考え方

「松田町第6次総合計画」の進行管理にあたっては、PDCAサイクルを導入し、本計画(PLAN)に基づく施策・事業の実施(DO)、取組の進捗状況や目標指標の達成状況等については毎年度評価・検証(CHECK)を行い、必要に応じて4年ごとに計画への反映・見直し(ACT)を行います。

また、松田町自治基本条例に掲げるまちづくりの基本原則である「情報共有」、「参加」、「協働・連携協力」の考え方に基づき、PDCAサイクルの各段階で町民が参画できる仕組みを取り入れながら、町民と行政が一体となって計画を推進します。

■PDCAサイクルと町民との関わりのイメージ



まちづくりの考え方と将来像

<まちづくりの基本的な考え方>

松田町のまちづくりは次の3つを基本的な考え方として推進します。

みんなが主役の
まちづくり

持続発展的で
魅力あるまちづくり

郷土愛をもって
活躍する人づくり

<まちの将来像>

これまで受け継がれてきた地域資源を生かしながら町民一人ひとりの松田町の誇りと力を結集することで持続発展的な松田町を目指し、まちの将来像を以下の通りとします。

いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷

<長期的に目指すべきキーワード>

長期的には、人口減少社会においても、町民の幸せな暮らしを実現し、持続発展的な松田町「笑顔あふれる幸せのまち 松田」を目指します。

笑顔あふれる幸せのまち 松田